

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	九州財務局長
【提出日】	平成24年8月14日
【四半期会計期間】	第34期第2四半期（自平成24年4月1日至平成24年6月30日）
【会社名】	グリーンランドリゾート株式会社
【英訳名】	GREENLAND RESORT COMPANY LIMITED
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 江里口 俊文
【本店の所在の場所】	熊本県荒尾市下井手1616番地
【電話番号】	0968-66-2111
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 渡邊 和雄
【最寄りの連絡場所】	熊本県荒尾市下井手1616番地
【電話番号】	0968-66-2111
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 渡邊 和雄
【縦覧に供する場所】	株式会社大阪証券取引所 （大阪市中央区北浜一丁目8番16号） 証券会員制法人福岡証券取引所 （福岡市中央区天神二丁目14番2号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第33期 第2四半期連結 累計期間	第34期 第2四半期連結 累計期間	第33期
会計期間	自平成23年 1月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 1月1日 至平成24年 6月30日	自平成23年 1月1日 至平成23年 12月31日
売上高(千円)	3,436,609	3,647,859	7,329,865
経常利益又は経常損失()(千円)	110,568	10,903	92,726
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失()(千円)	102,273	9,556	57,212
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	96,214	7,498	59,201
純資産額(千円)	9,959,522	10,061,087	10,094,480
総資産額(千円)	21,730,658	21,478,034	21,668,078
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 ()(円)	10.01	0.94	5.60
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	-	-	-
自己資本比率(%)	45.8	46.8	46.6
営業活動による キャッシュ・フロー(千円)	13,725	287,045	383,572
投資活動による キャッシュ・フロー(千円)	47,110	149,561	58,105
財務活動による キャッシュ・フロー(千円)	21,346	181,165	350,984
現金及び現金同等物の四半期末(期 末)残高(千円)	228,323	241,305	284,987

回次	第33期 第2四半期連結 会計期間	第34期 第2四半期連結 会計期間
会計期間	自平成23年 4月1日 至平成23年 6月30日	自平成24年 4月1日 至平成24年 6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は1 株当たり四半期純損失金額() (円)	1.84	9.93

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含んでおりません。
3. 第34期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
4. 第33期第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
5. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
6. 第33期第2四半期連結累計期間の四半期包括利益の算定にあたり、「包括利益の表示に関する会計基準」(企業会計基準第25号 平成22年6月30日)を適用し、遡及処理しております。

2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において新たに発生した事業等のリスクはありません。
 また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、昨年発生した東日本大震災の影響が解消し、国内外の顧客消費動向は持ち直してきており、九州の遊園地におきましては、繁忙期である春休みやゴールデンウィーク期間の集客が順調に推移いたしました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,647,859千円（前年同期比6.2%増）となり、営業利益は43,928千円（前年同期は営業損失63,427千円）、経常利益は10,903千円（前年同期は経常損失110,568千円）、四半期純利益は9,556千円（前年同期は四半期純損失102,273千円）となりました。

	当第2四半期 連結累計期間 (千円)	前第2四半期 連結累計期間 (千円)	増減額 (千円)	増減率 (%)
売上高	3,647,859	3,436,609	211,249	6.2
営業利益（損失）	43,928	63,427	107,355	-
経常利益（損失）	10,903	110,568	121,471	-
四半期純利益（損失）	9,556	102,273	111,829	-

次に、報告セグメントごとの業績は次のとおりです。

遊園地事業

九州の『グリーンランド』におきましては、集客効果ならびに収益性の向上を目的とし、春のイベントの開始期日を例年より1週間早め、平成24年3月3日より開催いたしました。開催期間を前後半に分け、「レジェンドバトルステージ」と題するアクションショーを実施いたしました。前半の3月3日から4月20日にかけての49日間は海賊戦隊ゴーカイジャーを、後半の4月21日から6月3日にかけての44日間および6月9日から7月1日にかけての土・日8日間は仮面ライダーフォーゼをメインキャラクターとし、当遊園地ならではの迫力のパフォーマンスで、喝采を博しました。また、3月3日から5月6日にかけての65日間は、「モンスターハンターワールドG in グリーンランド」と題し、幅広い世代に人気のあるゲームソフト「モンスターハンター3（トライ）G」をテーマにした体験型アトラクションを開催いたしました。さらに、5月20日には、人気絶頂のお笑い芸人を起用した「スギちゃんお笑いライブ」を開催しました。加えて、新規アトラクション「カード迷路『ぐるり森大冒険』」をはじめ、期間限定アトラクション「キッズアクア」や「フィッシュセラピー」をオープンし、集客に努めました。その結果、2月ならびに6月は降雨により落ち込みましたものの、春休みやゴールデンウィーク期間は順調に集客し、利用者数は、前年同期比27,667人増加の392,848人となり、売上高は前年同期比203,904千円増収（+13.5%）の1,713,127千円となりました。

『北海道グリーンランドホワイトパーク（スキー場）』におきましては、記録的な豪雪となった影響で、利用者数が減少いたしました。また、『北海道グリーンランド遊園地』におきましては、「国立ポリシヨイサーカス」の開催や、人気キャラクターを起用した「3大ヒーロー&ヒロイン大集合」を開催し、ファミリー層の集客を図りました。さらに、数々のカーイベントを開催し、集客に努めました結果、ゴールデンウィーク期間中は悪天候による影響がありましたものの、その他の期間でカバーし、遊園地の入場者数は増加いたしました。以上、北海道の遊園地事業におきまして、スキー場と合わせた利用者数は前年同期比499人減少の96,958人となりましたものの、客単価の増加により、売上高は前年同期比7,098千円増収（+2.8%）の264,328千円となりました。なお、いわみざわ公園管理につきましては、平成25年に岩見沢市で開催される「ばら制定都市会議（ばらサミット）」に向けた、バラ園の整備・改善に力を入れ、その他の施設におきましても、より一層の魅力ある施設作りに取り組みました。

その他に、『モビリティおおむた』におきましては、ブログの開設をはじめとするホームページでの情報発信を強化するとともに、走行会やイベント等の誘致に向けた営業活動に努めてまいりました結果、自動車メーカー主催のイベントが増加したこと等により、売上高は前年同期比2,231千円増収(+13.5%)の18,801千円となりました。

以上の結果、遊園地事業につきましては、利用者数は前年同期比27,168人増加の489,806人となり、売上高は前年同期比213,235千円増収(+12.0%)の1,996,257千円となり、営業利益は前年同期比78,168千円(+91.7%)増益の163,392千円となりました。

ゴルフ事業

ゴルフ事業におきましては、6月26日に、韓国の昌原(チャンウォン)市にある昌原カントリークラブと、韓国のゴルフ場では4つ目となる相互施設利用契約を締結し、韓国における当社3ゴルフ場の知名度や付加価値の向上及び、メンバーズゴルフ場会員権の価値向上に努めました。

『グリーンランドリゾートゴルフコース』におきましては、多彩なイベントを開催するとともに、ロッカールームのリニューアルや、オレンジレストランの改修等、施設面の拡充を図りました。

『大牟田ゴルフ場』におきましては、コンペ誘致や様々なイベントの開催による集客に加え、クラブハウスの照明ならびに空調設備を省エネ機器に入れ替え、お客様に快適な空間を提供するとともに、経費の削減に取り組んでまいりました。

『広川ゴルフ場』におきましては、月曜セルフデーの開催や、お土産付きイベントの開催等による集客策を講じました。

その結果、様々なイベントの開催効果や、施設の拡充に取り組み、当社ゴルフ場ならではの付加価値を高めたことにより、集客が堅調に推移し、ゴルフ事業につきましては、利用者数は前年同期比3,514人増加の69,903人、売上高は前年同期比21,500千円増収(+4.4%)の509,164千円となり、さらなる経費削減に努めた結果、営業損失は前年同期比27,260千円損失減の8,419千円となりました。

ホテル事業

『ホテルブランカ』におきましては、宿泊予約サイト及び自社ホームページからの予約を強化してまいりました。また、ビジネスプランやカップルプラン、さらには卒業旅行プラン等を積極的に売り込みました。中庭バーベキューにおきましては、目玉メニューの「赤鷄の手羽先唐揚げ」をはじめ、定着しております飲料のセルフサービス方式の営業形態を継続し、多くのお客様にご利用いただきました。以上の取り組みの結果、宴会部門は伸び悩みましたものの、宿泊及び料飲部門が好調に推移し、全体の売上高は増加いたしました。

『ホテルヴェルデ』におきましては、大手宿泊予約サイトや自社ホームページでの客室販売に加え、新たに、フラッシュマーケティングサイトの「グルーボン」や「ボンパレ」による客室販売に取り組みました。なお、「卒業旅行プラン」につきましては、バスツアーをはじめとする販売拡充に力を入れました結果、過去最高の宿泊者数となりました。また、外国人の富裕層をメインターゲットとした「健康診断プラン」や「プラスワンデイプラン」を新たに造成いたしました。レストランにおきましては、「300gメガステーキ」等の目玉メニューの販売や、様々なイベントの開催に力を入れ、集客に努めました。婚礼におきましては、回毎にテーマを持たせたイベント仕立てのウエディングフェアの開催をはじめ、披露宴実績のあるお客様の口コミ等の情報収集や、紹介制度のご案内等に取り組んでまいりました。一般宴会におきましては、「海の幸祭り」等の様々なイベントの開催による集客を図ってまいりました。以上の取り組みの結果、宿泊及び料飲部門は伸び悩みましたものの、婚礼や一般宴会の増加により、宴会部門の売上高が大幅に伸びました。

『ホテルサンプラザ』ならびに『北村温泉ホテル』におきましては、地域密着型の営業展開を心がけ、特色あるイベントの開催や商品販売に努め、地元のお客様を中心に、より一層楽しんでいただける施設作りに取り組んでまいりました。

『ホテルサンプラザ』におきましては、カニバイキングやステーキ食べ放題等のイベントを開催し、集客に努めてまいりました。また、婚礼におきましては、ブライダル相談会の開催及びブログによるきめ細かい情報の発信に取り組んでまいりました。

『北村温泉ホテル』におきましては、日帰り温泉入浴と食事をセットにしたプランの販売や、ハワイアンフェスティバル等のイベントを開催し、集客を図ってまいりました。

以上の結果、ホテル事業につきましては、『ホテルサンプラザ』の宿泊者数が好調に推移したことにより、全体の宿泊者数は前年同期比1,721人増加の43,273人、売上高は前年同期比55,680千円増収(+6.4%)の923,380千円となり、営業損失は前年同期比19,957千円損失減の29,007千円となりました。

不動産事業

不動産事業におきましては、昨年9月にオープンいたしましたナフコ荒尾東店の土地賃貸料が加わり、売上高は前年同期比8,287千円増収(+11.1%)の82,693千円となり、営業利益は前年同期比6,595千円(+14.2%)増益の52,959千円となりました。

土木・建設資材事業

土木・建設資材事業におきましては、受注工事が当第2四半期連結累計期間から時期がずれたこと等により、売上高は前年同期比88,659千円減収(-43.1%)の117,253千円となり、営業利益は前年同期比30,557千円(-88.3%)減益の4,039千円となりました。

その他の事業

ギフト商品販売業及び保険代理店業につきまして、売上高は前年同期と同水準となりましたものの、労働者派遣事業につきましては、着実な実績を積み上げました結果、全体の売上高は前年同期比1,205千円増収(+6.7%)の19,109千円となり、営業利益は前年同期比2,002千円(+63.5%)増益の5,158千円となりました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、21,478,034千円(前連結会計年度末比190,043千円減少)となりました。

流動資産

流動資産は、969,936千円(前連結会計年度末比131,229千円減少)となりました。主な要因は売掛金で123,639千円減少したことによるものであります。

固定資産

固定資産は、20,508,098千円(前連結会計年度末比58,814千円減少)となりました。主な要因は有形固定資産の減価償却等で62,128千円減少したことによるものであります。

流動負債

流動負債は、4,240,082千円(前連結会計年度末比119,111千円増加)となりました。主な要因は短期借入金で134,148千円増加したことによるものであります。

固定負債

固定負債は、7,176,864千円(前連結会計年度末比275,761千円減少)となりました。主な要因は長期預り金で85,700千円、長期借入金で186,545千円減少したことによるものであります。

純資産

純資産は、10,061,087千円(前連結会計年度末比33,393千円減少)となりました。主な要因は利益剰余金で31,314千円減少したことによるものであります。

(3) キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ43,681千円減少し、241,305千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果増加した資金は287,045千円(前年同期は13,725千円減少)となりました。これは主に、減価償却費218,859千円、売上債権の減少108,064千円による資金の増加に対し、仕入債務の減少35,240千円による資金の減少があったことなどによるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果減少した資金は149,561千円(前年同期は47,110千円減少)となりました。これは主に、有形固定資産の取得156,558千円による資金の減少があったことなどによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果減少した資金は181,165千円(前年同期は21,346千円減少)となりました。これは主に借入金の減少52,397千円、長期預り金の減少85,700千円による資金の減少があったことなどによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	20,000,000
計	20,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年6月30日)	提出日現在発行数 (株) (平成24年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	10,346,683	10,346,683	大阪証券取引所(市場第 二部) 福岡証券取引所	・権利内容に何ら限定 のない当社における 標準となる株式 ・単元株式数 100株
計	10,346,683	10,346,683	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
平成24年4月1日～ 平成24年6月30日		10,346,683		4,180,101		4,767,834

(6) 【大株主の状況】

平成24年6月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合(%)
西部瓦斯株式会社	福岡市博多区千代1丁目17-1	1,500.0	14.49
西部ガス興商株式会社	福岡市博多区千代1丁目17-1	501.2	4.84
株式会社肥後銀行	熊本市中央区練兵町1	500.0	4.83
株式会社三井住友銀行	東京都千代田区丸の内1丁目1-2	487.6	4.71
日本コークス工業株式会社	東京都江東区豊洲3丁目3-3	471.5	4.55
西日本メンテナンス株式会社	福岡県大牟田市山上町2-2	323.0	3.12
株式会社西日本シティ銀行	福岡市博多区博多駅前3丁目1-1	260.0	2.51
大牟田瓦斯株式会社	福岡県大牟田市泉町4-5	256.0	2.47
サノヤス・ライド株式会社	大阪市住之江区北加賀屋5丁目2-7	250.0	2.41
九州ガス圧送株式会社	福岡県大牟田市泉町4-5	250.0	2.41
計	-	4,799.3	46.38

(7)【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 128,900	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 10,216,900	102,169	-
単元未満株式	普通株式 883	-	-
発行済株式総数	10,346,683	-	-
総株主の議決権	-	102,169	-

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式(失念株式)が300株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数3個が含まれております。

【自己株式等】

平成24年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
グリーンランドリゾート(株)	熊本県荒尾市下井手 1616番地	128,900	-	128,900	1.24
計	-	128,900	-	128,900	1.24

(注) 上記のほか、株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が100株あります。なお、当該株式数は上記「発行済株式」の「完全議決権株式(その他)」に含まれております。

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	290,687	245,005
受取手形及び売掛金	291,926	172,944
有価証券	999	-
商品及び製品	30,401	43,817
原材料及び貯蔵品	45,160	46,190
販売用不動産	347,537	347,537
繰延税金資産	15,220	17,261
その他	98,711	118,687
貸倒引当金	19,480	21,508
流動資産合計	1,101,165	969,936
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,884,656	4,763,079
機械装置及び運搬具(純額)	307,957	300,513
土地	14,432,411	14,432,632
その他(純額)	87,820	154,491
有形固定資産合計	19,712,845	19,650,717
無形固定資産		
その他	238,515	238,069
無形固定資産合計	238,515	238,069
投資その他の資産		
投資有価証券	185,502	182,374
繰延税金資産	333,453	333,371
その他	97,874	104,844
貸倒引当金	1,279	1,279
投資その他の資産合計	615,551	619,312
固定資産合計	20,566,913	20,508,098
資産合計	21,668,078	21,478,034

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	78,972	52,074
営業未払金	91,727	83,385
短期借入金	3,564,996	3,699,144
未払金	226,826	211,816
未払法人税等	28,091	42,495
その他	130,356	151,166
流動負債合計	4,120,971	4,240,082
固定負債		
長期借入金	3,529,920	3,343,375
長期預り金	3,739,311	3,653,611
退職給付引当金	34,160	18,438
役員退職慰労引当金	42,538	42,538
その他	106,694	118,900
固定負債合計	7,452,626	7,176,864
負債合計	11,573,597	11,416,947
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,180,101	4,180,101
資本剰余金	4,767,834	4,767,834
利益剰余金	1,208,411	1,177,096
自己株式	42,176	42,196
株主資本合計	10,114,171	10,082,835
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	19,690	21,748
その他の包括利益累計額合計	19,690	21,748
純資産合計	10,094,480	10,061,087
負債純資産合計	21,668,078	21,478,034

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,436,609	3,647,859
売上原価	3,207,158	3,315,606
売上総利益	229,451	332,252
販売費及び一般管理費	292,878	288,324
営業利益又は営業損失()	63,427	43,928
営業外収益		
受取利息	165	109
受取配当金	2,311	2,414
受取賃貸料	2,691	2,648
助成金収入	5,600	4,402
雑収入	2,340	7,623
営業外収益合計	13,108	17,197
営業外費用		
支払利息	54,628	48,658
雑損失	5,620	1,564
営業外費用合計	60,249	50,222
経常利益又は経常損失()	110,568	10,903
特別利益		
固定資産売却益	2,652	2,158
貸倒引当金戻入額	234	-
受取保険金	-	37,824
収用補償金	-	3,882
特別利益合計	2,886	43,865
特別損失		
固定資産除売却損	1,505	844
災害による損失	-	13,511
特別損失合計	1,505	14,356
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	109,186	40,412
法人税、住民税及び事業税	21,508	31,744
法人税等調整額	28,421	888
法人税等合計	6,913	30,856
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	102,273	9,556
四半期純利益又は四半期純損失()	102,273	9,556

【四半期連結包括利益計算書】
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失()	102,273	9,556
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,059	2,057
その他の包括利益合計	6,059	2,057
四半期包括利益	96,214	7,498
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	96,214	7,498
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失()	109,186	40,412
減価償却費	221,935	218,859
退職給付引当金の増減額(は減少)	1,267	15,721
貸倒引当金の増減額(は減少)	6,609	2,028
受取利息及び受取配当金	2,476	2,523
支払利息	54,628	48,658
受取保険金	-	37,824
固定資産除売却損益(は益)	1,147	1,314
売上債権の増減額(は増加)	57,705	108,064
たな卸資産の増減額(は増加)	3,747	14,446
仕入債務の増減額(は減少)	43,558	35,240
未払金の増減額(は減少)	51,844	11,655
未払消費税等の増減額(は減少)	18,458	4,236
その他	7,071	22,807
小計	96,396	317,868
利息及び配当金の受取額	2,476	2,523
利息の支払額	57,313	47,902
保険金の受取額	-	31,998
法人税等の支払額	55,285	17,443
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,725	287,045
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	3,000	2,800
定期預金の払戻による収入	-	4,800
有価証券の取得による支出	999	-
有価証券の売却による収入	998	999
有形固定資産の取得による支出	48,472	156,558
有形固定資産の売却による収入	2,706	2,228
その他	1,656	1,769
投資活動によるキャッシュ・フロー	47,110	149,561
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	68,000	88,000
長期借入れによる収入	1,000,000	550,000
長期借入金の返済による支出	804,387	690,397
長期預り金の受入による収入	-	5,400
長期預り金の返還による支出	106,200	91,100
自己株式の取得による支出	-	20
配当金の支払額	40,499	40,594
その他	2,259	2,452
財務活動によるキャッシュ・フロー	21,346	181,165
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	82,181	43,681
現金及び現金同等物の期首残高	310,504	284,987
現金及び現金同等物の四半期末残高	228,323	241,305

【追加情報】

当第2四半期連結累計期間
(自平成24年1月1日
至平成24年6月30日)

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」(企業会計基準第24号 平成21年12月4日)及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日)を適用しております。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

前連結会計年度 (平成23年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)												
<p>1 偶発債務 保証債務 下記の会社等の金融機関借入金について保証を行っております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">被保証者</th> <th style="width: 33%;">借入金用途等</th> <th style="width: 34%;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>銀行提携ゴルフローン契約先</td> <td>ゴルフ会員権 購入資金</td> <td style="text-align: center;">15,590</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 受取手形割引高は、8,455千円であります。</p>	被保証者	借入金用途等	金額(千円)	銀行提携ゴルフローン契約先	ゴルフ会員権 購入資金	15,590	<p>1 偶発債務 保証債務 下記の会社等の金融機関借入金について保証を行っております。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 33%;">被保証者</th> <th style="width: 33%;">借入金用途等</th> <th style="width: 34%;">金額(千円)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>銀行提携ゴルフローン契約先</td> <td>ゴルフ会員権 購入資金</td> <td style="text-align: center;">13,492</td> </tr> </tbody> </table> <p>2</p>	被保証者	借入金用途等	金額(千円)	銀行提携ゴルフローン契約先	ゴルフ会員権 購入資金	13,492
被保証者	借入金用途等	金額(千円)											
銀行提携ゴルフローン契約先	ゴルフ会員権 購入資金	15,590											
被保証者	借入金用途等	金額(千円)											
銀行提携ゴルフローン契約先	ゴルフ会員権 購入資金	13,492											

(四半期連結損益計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)																
<p>販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">46,748 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">127,319</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">7,427</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">1,064</td> </tr> </table>	役員報酬	46,748 千円	人件費	127,319	退職給付費用	7,427	貸倒引当金繰入額	1,064	<p>販売費及び一般管理費の主要な費目及び金額は次のとおりであります。</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;">役員報酬</td> <td style="text-align: right;">50,226 千円</td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">123,014</td> </tr> <tr> <td>退職給付費用</td> <td style="text-align: right;">3,046</td> </tr> <tr> <td>貸倒引当金繰入額</td> <td style="text-align: right;">2,079</td> </tr> </table>	役員報酬	50,226 千円	人件費	123,014	退職給付費用	3,046	貸倒引当金繰入額	2,079
役員報酬	46,748 千円																
人件費	127,319																
退職給付費用	7,427																
貸倒引当金繰入額	1,064																
役員報酬	50,226 千円																
人件費	123,014																
退職給付費用	3,046																
貸倒引当金繰入額	2,079																

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)																
<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成23年6月30日現在)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="text-align: right;">(千円)</td> </tr> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">234,623</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">6,300</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">228,323</td> </tr> </table>		(千円)	現金及び預金勘定	234,623	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	6,300	現金及び現金同等物	228,323	<p>現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係 (平成24年6月30日現在)</p> <table style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 70%;"></td> <td style="text-align: right;">(千円)</td> </tr> <tr> <td>現金及び預金勘定</td> <td style="text-align: right;">245,005</td> </tr> <tr> <td>預入期間が3ヶ月を超える定期預金</td> <td style="text-align: right;">3,700</td> </tr> <tr> <td>現金及び現金同等物</td> <td style="text-align: right;">241,305</td> </tr> </table>		(千円)	現金及び預金勘定	245,005	預入期間が3ヶ月を超える定期預金	3,700	現金及び現金同等物	241,305
	(千円)																
現金及び預金勘定	234,623																
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	6,300																
現金及び現金同等物	228,323																
	(千円)																
現金及び預金勘定	245,005																
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	3,700																
現金及び現金同等物	241,305																

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年3月25日 定時株主総会	普通株式	40,871	4	平成22年12月31日	平成23年3月28日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年8月5日 取締役会	普通株式	20,435	2	平成23年6月30日	平成23年9月2日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

1. 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年3月29日 定時株主総会	普通株式	40,871	4	平成23年12月31日	平成24年3月30日	利益剰余金

(2) 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年8月10日 取締役会	普通株式	20,435	2	平成24年6月30日	平成24年9月3日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成23年1月1日至平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	1,783,022	487,663	867,699	74,406	205,913	17,904	3,436,609	-	3,436,609
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,805	10,392	33,887	10,270	2,151	38,049	96,557	96,557	-
計	1,784,828	498,055	901,587	84,676	208,065	55,954	3,533,166	96,557	3,436,609
セグメント利益又は損失()	85,223	35,680	48,965	46,363	34,597	3,155	84,695	148,122	63,427

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 142,212千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

当第2四半期連結累計期間(自平成24年1月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント							調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	遊園地事業	ゴルフ事業	ホテル事業	不動産事業	土木・建設 資材事業	その他の 事業	計		
売上高									
外部顧客への売上高	1,996,257	509,164	923,380	82,693	117,253	19,109	3,647,859	-	3,647,859
セグメント間の内部売上 高又は振替高	1,858	10,503	35,759	9,414	5,153	42,648	105,338	105,338	-
計	1,998,116	519,667	959,140	92,107	122,407	61,758	3,753,197	105,338	3,647,859
セグメント利益又は損失()	163,392	8,419	29,007	52,959	4,039	5,158	188,122	144,194	43,928

(注)1. セグメント利益又は損失の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用 140,179千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年1月1日 至平成23年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期 純損失金額()(円)	10.01	0.94
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	102,273	9,556
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失 ()(千円)	102,273	9,556
普通株式の期中平均株式数(千株)	10,217	10,217

- (注) 1. 当第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
2. 前第2四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

平成24年8月10日開催の取締役会において、当期中間配当に関し、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

中間配当による配当金の総額	20,435,428円
1株当たりの金額	2円
基準日	平成24年6月30日
効力発生日	平成24年9月3日

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年8月9日

グリーンランドリゾート株式会社
取締役会 御中

新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 佐藤 宏文 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 金子 一昭 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているグリーンランドリゾート株式会社の平成24年1月1日から平成24年12月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（平成24年4月1日から平成24年6月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（平成24年1月1日から平成24年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、グリーンランドリゾート株式会社及び連結子会社の平成24年6月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれておりません。